

まつど SDGs キャラバンメンバーシップ宣言書

2025 年 8 月 18 日

企業・団体等名称 株式会社日本食品遺伝科学

代表者役職・氏名 代表取締役 小野秀彰

SDGs 達成に向けて、以下のとおり取り組むことを宣言します。

1 SDGs 達成に向けて、現在取り組んでいること

- ・ DNA 分析による品質管理や産地判別で、食品偽装や安全性のリスクを低減し、消費者に安全な食を届けるとともに、流通過程での廃棄ロスの削減に寄与しています。
- ・ DNA 分析を通じ食品表示の信頼性を高め、真摯に品質管理に取り組む生産者が正当に評価される市場環境を醸成することにより、公正で透明性の高いフードサプライチェーンの構築に貢献しています。
- ・ DNA 分析技術を活用し、食品産業の技術革新を推進しています。さらに、水産資源の科学的なモニタリングや、生物多様性の保全を支援することで、豊かな自然環境を未来へと継承していきます。
- ・ オフィスの省エネ化やテレワーク推進、森林認証紙の利用など、事業活動全体で環境負荷の低減に努めています。
- ・ 人権の尊重、多様性の推進、働きやすい職場環境づくりに取り組み、社員一人ひとりが能力を発揮できる社会を目指しています。

2 今後の SDGs 達成に向けて、(1)目指す方向(方針)(2)具体的に組みたいこと

- (1)目指す方向(方針)
- 当社は DNA 分析を基盤に、食の安全と持続可能な資源利用を推進し、より公正で透明性の高いフードサプライチェーンの実現に貢献します。同時に、環境負荷の低減と多様性を尊重した働きがいある職場づくりを進め、持続可能な経営モデルを強化します。これらを通じて、科学と社会をつなぐ企業として SDGs 達成に寄与してまいります。
- (2)具体的に組みたいこと
- ・ DNA 分析を活用し、食品の安全性検証や産地判別を高度化してまいります。
 - ・ 水産資源や生物多様性のモニタリングを推進し、持続可能な資源利用と環境保全に貢献してまいります。
 - ・ 脱炭素化や省エネ、資源循環を徹底し、環境負荷の低減に努めてまいります。
 - ・ 多様性を尊重した働きやすい職場環境を整備し、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう努めてまいります。
 - ・ 産学官や業界とのパートナーシップを一層強化し、食の未来と持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

3 取組を通じて目指したいSDGsのゴール(☑を入れてください。複数選択可)

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
☐	☒	☒	☒	☒	☐
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
☒	☒	☒	☒	☒	☒
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリープで目標を達成しよう 	
☒	☒	☒	☒	☒	